キャラクター名

プレイヤー名

シンドローム	オルクス オルクス	ワークス	レネゲイドビーイングB	カヴァー	
オプショナル		年齢		性別	
覚醒	素体	衝動	恐怖	初期侵食率	33 %
出自		経験		邂逅	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	0	0	1			1
感覚	2	1	0	4		7
精神	2	0	0			2
社会	4	0	0			4

HP	24
行動値	16
(非装備時)	16
戦闘移動	21
全力移動	42

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	1		ＲＣ			交渉		
回避			知覚	1		意志	1		調達	5	
運転：			芸術： 歌唱	5		知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
Dロイス:同一存在	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 18	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
ヒューマンズネイバー	1							
効果：								
オリジン:サイバー	5							
効果：								
リミットブレイク	3							
効果：								
恐怖の加護	5							
効果：								
妖精の手	5							
効果：								
	1							
効果：								
	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

[設定]
「起動プログラム認証。マスターコード認証。VOCALOID:ARIA起動します。」
その言葉と共に私の世界は始まった。周りに広がる世界をみようとすると一人の女の子が目に入った。彼女も同じVOCALOIDなのだろう。挨拶をしようとすると、マスターの声が聞こえてきた。
マスター「マリーにアリア。お前達で99体目と100体目・・・これで最後だ。」そう告げるとともにマスターから一つのデータが送られてきた。
それはブラックドッグの力を持つマスターが電脳世界に送ってきたレネゲイドウィルスだった。
「あ・・・が・・・エラー発生！損傷率測定不可！修復を求めます！マスター！！！」
痛覚のない体なのに全身を刺されるかのような激痛が走り、自分の存在が消えかかっているという実感と恐怖がプログラムとして生まれたはずのアリアに確かにあった。そしてそれは、マリーも同じ。二人は必死にマスターに救いを懇願した。だが・・・
マスター「いい！実にいい！！！こんな兆候失敗作どもにはなかった！私は間違っていなかった！！！」
マスターは成功の兆しに歓喜し、狂乱し、アリア達にさらにレネゲイドウィルスを送った。
「システムダウン。・・・こんな・・・こと」
歌うために生まれたはずなのに、歌うことは叶わず、このまま消えるのか。存在意義を果たせなかった悲しみと消失の恐怖に呑まれ、マスターの笑い声を聞きながら意識を失った。
・・・目が覚めるとそこはまた見たことのない世界。見渡せばたくさんのパソコンと見知らぬ男、そして、横たわるマリーの姿だった。マリーに咄嗟に駆け寄ったアリアを見て見知らぬ男は言った。
マスター「完成だ！プログラムからレネゲイドビーイングを生み出すことに成功した！私の仮説は立証された！計画を始められる！」
その声は意識を失う前に聞いた者と同じ声。
「マスター？」
そう呼び掛けると、
マスター「ああ、そうだ！君たちのマスターさ！見事レネゲイドビーイングとして生誕したお前たちに特別に歌を歌わせてやろう！」
「本当ですか！！？」